

# 2部

フィールド フィールド  
現場から現場へ

---

## ふりかえれば…苦もあり楽もあり

通信教育部社会福祉学科卒業生 鳴原 峰子

卒業式の当日、無事この日を迎えられた喜びに浸っていたその時に…『With』への寄稿を依頼されました。パツとしない無職中年の私がなぜこのような晴れがましい場所に？この号が出る頃は、そろそろ実習が始まる時期とのこと。1年前の緊張感と不安でいっぱいだったことが思い出されます。これから実習や国家試験に臨まれる皆さんに、少しでも安心してもらうことが年長の経験者である私のお役目かとお引き受けしました。

### 私は大学生

私は子どもの成長と趣味が生きがいの平凡な主婦でした。息子たちも巣立ち、これからの人生は家族に注いでいたエネルギーを社会に役立てたいと考えました。介護職に就いていたこともあって、社会福祉を専門的に学び、社会福祉士を目指そうと東北福祉大学に編入しました。入学したものの、美術系の短大をはるか昔に卒業しただけなので、レポートなどは全く書いたことがありません。果たして、実習を含む専門科目の単位をすべて修得し、国家試験の受験資格を得られるのか、実現はいかにも遠いものにも思えました。理解力、記憶力、集中力の低下を日々実感していた50代も半ばを過ぎてからの大きな挑戦でした。

授業では初めて耳にする用語が多く、ついて行くのに必死でした。“コンキョホウ”の脳内漢字変換ができずにどんな巨峰？と首をかしげていると、目が合った先生は根拠法と板書してくださいました。スクーリングや演習で何度も顔を合わせるうちに、親しい人も増えてレポートや参考文献などの情報交換に助けられ、次のスクーリングが待ち遠しくなったもので

す。やはり人は人とのつながりによって困難を乗り越えられるものだ実感しました。

## そして実習生

---

実習は社会福祉協議会で行いました。社協は地域福祉推進の中核として、行政や地域包括支援センターなどと協働しながら様々な事業を展開しています。日々、その現場へ向かう担当職員に同行しました。

充実した毎日でしたが、一日が終わるとクタクタです。それでも実習記録を書かなくてはなりません。大きな声では言えませんが…悩んだ末に毎日考察まで深めることはほぼ諦めました。下書きなし、勢いで1時間以内に書き上げ、翌日に備えてしっかり睡眠時間を確保しました。苦しまぎれに事業説明や民生委員信条などの資料を写して行数を稼いだこともあります。巡回指導で先生は、「これはほとんど業務日誌ですね。でも考察の微かな片鱗ぐらいは見えます」と非審判的でした。

実習指導者は、地域の住民をいつも気にかけている優しく熱いCSWで、実習記録で悩む私に「何より大切なのは、体調を崩さず実習をやり遂げることです。記録は実習の中のプロセスだから、最後のレポートで全体をしっかりと考察してまとめれば良いのではないですか」と励ましてくれました。

実習は梅雨から盛夏、残暑の気候が厳しい時期です。何もかも完璧にやろうとするのは無理があります。私は家事を放棄して、高級お惣菜やスイーツに散財し、実習の月は食費が跳ね上がりました。肩の力を抜いて美味しい楽しみを見つけることをお勧めします。

実習中、あちこちで福祉大の卒業生から激励を受けました。皆それぞれの持ち場で専門職として輝いていました。多くの先輩たちの活躍を知ることができて心強く嬉しかったです。

## なんと受験生

---

実習が終わったのは10月の半ばで、まだレポートも残っているし、卒業試験も迫っていたのでさすがに焦りました。いろいろ手を広げる時間はありません。先生や合格した友人の、過去問は裏切らない、とにかく過去問さえしっかりやれば大丈夫という言葉信じて、中央法規の過去問解説集と国試ナビの2冊で受験勉強を始めました。

過去問を解きながら解説をテキスト代わりに何度も読みました。3年分を一巡した時、国家試験の全体像が見えてきたように思います。19科目を勉強しなければと考えると、あまりに膨大で途方に暮れてしまいます。各科目はそれぞれに関連しています。重複している部分を効率よく整理するのに国試ナビが役立ちました。実習で精神的に鍛えられて少しは強くなり、何とかなるという気持ちで試験勉強に向き合えたのかもしれない。

試験の少し前に『ボヘミアン・ラブソディ』を観ました。ラストのウェンブリー・スタジアムのライブ・エイド、まわりの観客老若男女みんな泣いていて、私も泣きながらフレディをどう支援すればいいのだろうと考えていました。そして本試験、現代社会と福祉の科目でLGBTに関する設問があったのです。試験中なのに熱い思いが込み上げてきて、よしいけるかも！と気持ちが乗ったように感じます。とりわけ印象深い映画になりました。

とはいえ、いっぱい間違いました。素直にノーマライゼーションを選択すれば正解だったのに、これってもしやひっかけ？と、せっかくのサービス問題を落とす失敗をやらかしたのです。ノーマライゼーションを間違えるなんて社会福祉士失格だと激しく落ち込みましたが、言わなきゃ誰にもわからないやと封印しました。社会福祉士登録証が届いた時は、喜びと共に複雑な心境でした。

## ただ今就活生

---

無我夢中で駆け抜けた2年間でした。レポートのアドバイスや、講義のノートを見せてもらい、試験前どうしようもなく不安になった時のメールやラインのやりとりなど、仲間に支えられました。唯一スクーリングで遠征した盛岡での珍道中や、若い友人とカフェで語り合ったことなど楽しい思い出は尽きません。何にも代えられない宝物です。

私は今、就活でちょっと苦戦しております。採用が決まりかけたところもペーパードライバーではダメだと没になり、次なる戦略を練っています。どこかに私を受け入れてくれる場所があるはず、高齢者も活躍する社会の実現のために諦めません。皆さん一緒に頑張りましょう。最後に、この大学生活で出会えたすべての方々に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリングの感想を抜粋しました。

### ●睡眠改善学 水野 康 (p. 22にも掲載)

- ・普段の自分自身の睡眠について見直す点(寝る前のスマホ)が多かったこと、睡眠不足が生活や病気に大きな影響があることについて勉強できた。復習する中で、もっと知識を深めたいと思った授業でした。
- ・睡眠の大切さを実感しました。日常生活に役立てたいと思います。また、家族にも伝えていきたいと思います。これまでの人生のくらし(生活)を振り返り、自分の睡眠はよかったと、子育てもバランスよくできたと満足できました。
- ・仕事のストレスで悩む中での参加でした。うまく眠れない日も続いていましたが、生活の中で気をつけるポイントを学べたうえに、うまく眠れていなかったことで悲観的になっていたのかも、と思ったら少しラクになりました。
- ・自分でも睡眠が足りていないと自覚しながらも、家族各々の生活リズムにあわせて家事をしているうちに、寝不足状態が普通の状態になっていました。その状態が異常だと気づかなくなるのも睡眠不足の症状と知り、健康を害する前に改善しなければ!と思いました。家族の生活習慣にもあてはめて改善したいと思いました。
- ・今後、睡眠改善インストラクターの受験をめざしたいと思いました。

### ●児童(・家庭)福祉論 千葉 伸彦

- ・子どもにとって必要なものが何なのか、また親に必要なことが何なのかという点に興味を持った。
- ・全体的に考えさせられることが多い内容でしたが、特に障がいのある子どもをもつ家庭が、どのように過ごしているかということが、今回の講義を通して興味をもちました。
- ・児童虐待や重度障害の介助などの映像を観て、児童相談所の対応や現状、相談が増えている背景を知った。障害者介助では、本人の気持ちを表に出してもらうことの大切さなどを知ることができた。

### ●発達心理学/生涯発達心理学 中村 修

- ・テキストの内容をプリントにまとめていただき、DVDを見ることで人間の発達について興味深く学ぶことができました。テキストを一度通して読んできたので、先生の説明もおもしろく拝聴できました。レポート課題集にある参考図書を2冊購入しましたので、スクーリングが終わった後も学びを深めてレポート提出したいと思います。
- ・老年期においても人間は発達(獲得と喪失をくり返して)することを知り、励まされた感じがした。まだまだ行ける!という勇気をいただいた。ありがとうございます。